

## 対談 「田淵行男と人づくりー安曇野の環境保全ー」

高山蝶やアシナガバチの研究者として知られる山岳写真家 田淵行男は、自然環境の変化によって昆虫が絶滅していった過程を訴え続けました。

安曇野市の自然環境は高度経済成長後大きく変わりました。田淵が指摘しているように蝶の宝庫であった安曇野から蝶が羽ばたかなくなっています。

日本を代表するオオルリシジミの研究者 江田慧子氏、地元安曇野市の蝶研究者 那須野雅好氏、民俗学の研究者 巻山圭一氏をお招きし、美術の専門家である当館の林とともに、自然保護に向かってどのようなことができるのか、我々が目指す未来は何なのか、当館館長笹本正治が安曇野の自然環境の将来について話題を引き出していきます。寒い時期ですが、熱い議論の渦中に入ってみませんか。

### ■ 場所 穂高交流学习センター「みらい」

(安曇野市穂高6765-2)

- 受講は無料です。定員 200名
- 事前申し込みは必要ありませんので、直接お出かけください。
- 共催 安曇野市、安曇野市教育委員会
- 特別協力 田淵行男記念館

**平成31年1月19日(土) 13時30分～15時30分**

- 13時30分～13時35分 開会
- 13時35分～15時30分  
司会 笹本正治 (長野県立歴史館長)  
参加者  
江田慧子 (帝京科学大学専任講師)  
巻山圭一 (飯田高校校長)  
那須野雅好 (安曇野市教育委員会文化課長)  
林 誠 (長野県立歴史館学芸員)
- 15時30分 閉会

◇受付にて、当館冬季展図録を販売します。1冊1,000円です。  
◇長野県立歴史館(千曲市)では冬季展「自然を見つめた田淵行男」を2月17日(日)まで開催中。  
◇講座やイベント情報は、当館ホームページ (<http://www.npmh.net/>) でもご案内しています。

【お問い合わせ先】 長野県立歴史館 TEL 026-274-3991 (総合情報課直通)